

■開催趣旨

防災・減災のために、家庭で・地域で・子ども会で何が出来るか
何を備えるか、次代を担う子どもたちに伝えるためにみんなで考える

■期日

2014年7月28日(土) 17:00~19:30(2時間30分)

■会場

洲本市健康福祉館 3階 会議室

■参加者

10名 (大学生青少年リーダー3名、子ども会育成者6名、
行政職員1名、)

■概要

阪神・淡路大震災及び平成16年23号台風当時のまちの様子をスライド
ショーで鑑賞し被災体験を語り部(講師)に聞いた後、防災・減災に向け
て家庭や地域や子ども会でできることを全員参加型の意見交換で考えた

■実施スケジュール

時間	内容
17:00	あいさつ つなぐ手プロジェクト代表団体職員 浅見真一
17:05	オープニングスライド 「阪神淡路大震災って…」「兵庫県の水害って…」
17:15	語り部によるお話し 「災害、あのとき私は、あれから地域は、そして…」
17:45	全員参加型即答フリップ方式ディスカッション 「考えてみよう!子ども会でできる災害への備え」
19:30	終了・事務連絡 洲本市子ども会連絡協議会事務局

■語り部

洲本市子ども会連絡協議会 会長 岩見米男 氏

■ワークショップ運営チーム

ファシリテーター 一般社団法人兵庫県子ども会連合会
事務局長 浅見真一
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 4名

■会場の様子



語り部のお話し



ディスカッション

■参加者の感想

- ・良い話し合いができました。ありがとう!
- ・自分の知識が豊富になった
- ・来てよかった(来るまではいやだった)
- ・もっとたくさんの方が参加すればよかったのに…
- ・他人の意見を聞くことは大事!
- ・心がさわやかになりました。ありがとうございます。
- ・新しい考えにふれることができた
- ・楽しく、実りのある会でした
- ・「なるほど!」ばかり!!
- ・よかったです!